本別町国民健康保険病院経営強化プランの実施状況について

健康長寿のまちづくり会議資料
R7.9 本別町国民健康保険病院

１．当病院が果たすべき役割

Ⅰ・町民の健康を支える予防医療

・健診、ドックの実施による予防医療にて、早期発見や早期治療に繋げる
・定期的な受診推奨による「健康な暮らし」を支える取り組みの推進

Ⅱ・町内の急変患者の受け入れを行う入院機能の維持

・救急告示病院として 24 時間 365 日の患者受け入れ態勢の整備
・救急、入院体制を維持するための人員確保

Ⅲ・地域包括ケアシステムを担う医療機関としての機能強化

・地域包括ケア病床を利用したリハビリテーションによる在宅復帰支援
・退院後の介護サービス事業所紹介や施設紹介等、地域連携室機能を活かした患者サポート体制強化

２．病院の運営状況

令和６年度は、４月１日採用の内科医１名を含む内科医３名、外科医１名の常勤医４名体制でのスタートとなり、５月からは新たな常勤医による呼吸器内科（週１コマ）を開設した。

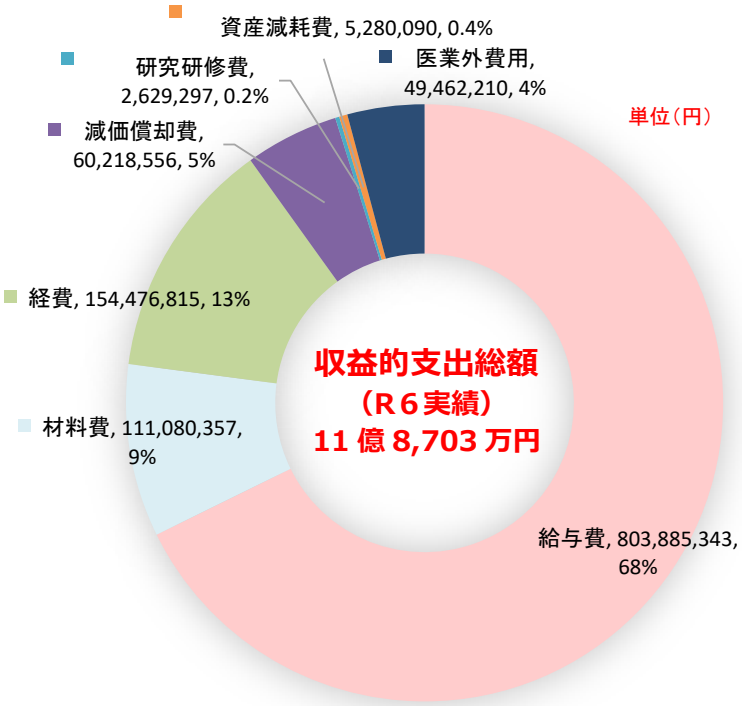
令和６年３月に策定した「本別町国民健康保険病院経営強化プラン」に沿い、地域包括ケア病床の運用やリハビリテーションの実施により、入院・外来の診療単価上昇を目指した運営に取り組んできた。

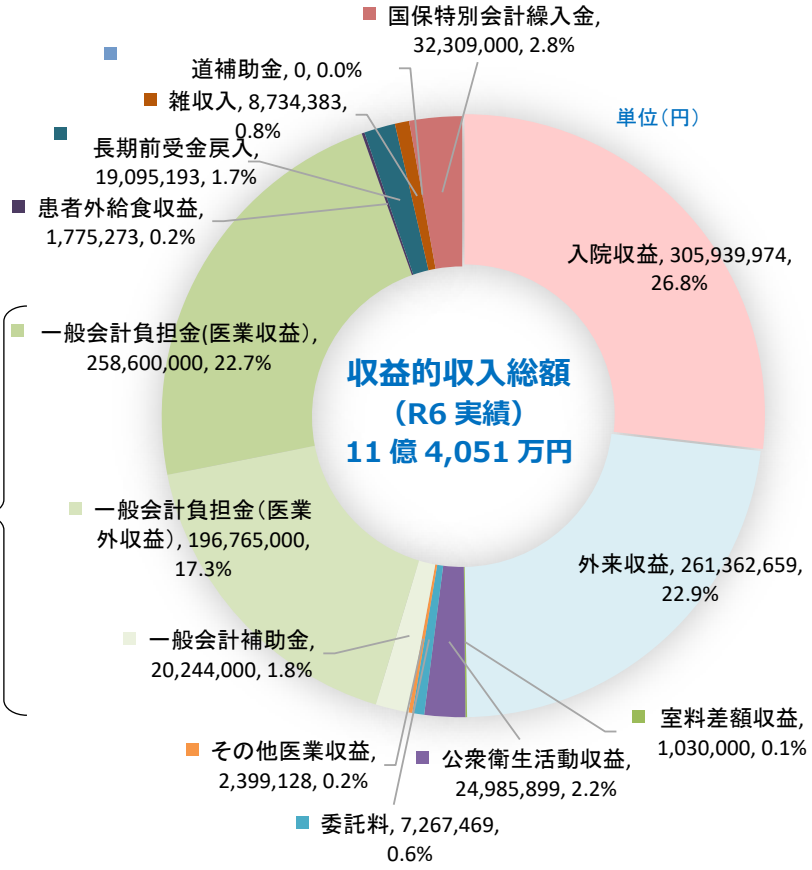
経営強化プランにおける「Ⅲ・地域包括ケアシステムを担う医療機関としての機能強化」について、国保病院として、連携室機能を活かした患者のサポート体制をより一層強化していくことが重要なことから、令和６年度より地域連携室配置職員を１名（保健師）増員し、また秋以降の入院患者が減少する中、９月からは、地域包括ケア病床のより積極的運用を図るため、地ケア病棟セレクション会議（病棟看護師、リハビリ、連携室）に外来看護師、医事職員も加わり、対象となるべく患者の情報共有等を進めてきたところ、地域包括ケア病床の稼働率は一定の上昇成果があったところである。しかしながら入院患者の減少幅が大きく年間では入院患者数・収益は前年度を下回り、外来も合わせた医業収益では対前年比 3.2%の減となった。

経費節減に関しては、給食部門における外部からの調理済食材の購入提供を７月から行い、人件費および水道光熱水費の圧縮につながった。

また、患者満足度向上に繋げるべく医療スタッフ間の伝達力や関係性構築強化のため、ハラスメントに対する接遇研修を実施した。

＜令和６年度決算の状況＞





一般会計負担金・補助金内訳

医業収益	1 救急医療の確保に要する経費	227,000 千円
	2 保健衛生行政事務に関する経費	14,000 千円
	3 ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医療に要する経費	17,000 千円
	4 小児医療に要する経費	600 千円
	計	**258,600** 千円

医業外収益	5 へき地医療の確保に要する経費	1,100 千円
	6 企業債償還利息に要する経費	5,665 千円
	7 不採算地区病院の運営に要する経費	182,000 千円
	8 高度医療に要する経費	8,000 千円
	計	**196,765** 千円

医業外収益	9 医師等の研究研修に要する経費	1,800 千円
	10 一時借入金利息に要する経費	401 千円
	11 退職手当組合事前納付金	0 千円
	12 基礎年金拠出金に係る公的負担に要する経費	18,043 千円
	13 公立病院経営強化の推進に要する経費	0 千円
	計	**20,244** 千円

※収益的収入分 繰入額総計 475,609 千円

財源内訳 ①普通交付税 77,128 千円 ②特別交付税 121,596 千円
③電源立地交付金 10,215 千円 ④過疎債 53,700 千円
⑤一般財源 212,970 千円

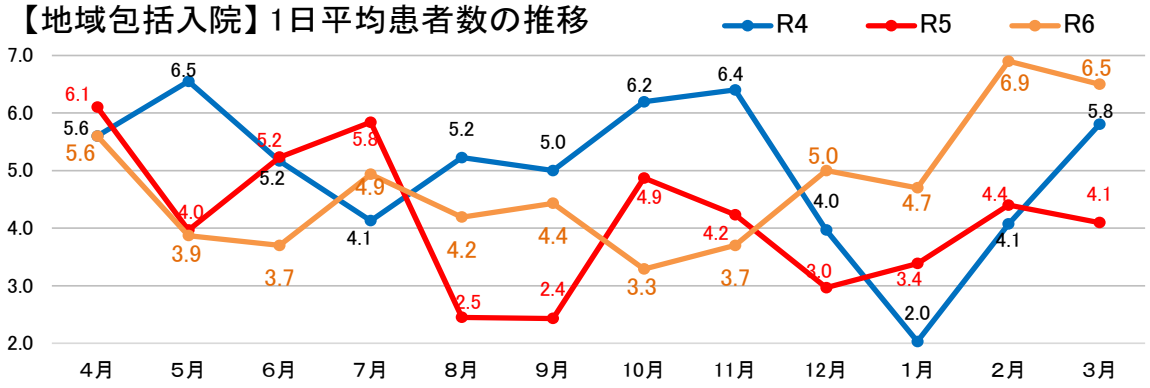
３　令和６年度の各種推進状況

１）集患対策の推進

①呼吸器内科の開設（５月～）
②健診・ドック再検者への受診推奨
③連携室の強化による他院からの転院や通院患者の確保
④接遇改善の取り組み～研修会の開催（２回）
⑤医療提供体制確保～ＣＴ画像診断装置更新
⑥病院ＰＲ事業（小イベント開催）

２）収益対策の推進

①地ケア病棟セレクション会議の強化（週１回）
～病棟看護師、リハ担当以外に外来看護師、医事担当の参加によるスムースな地ケアへの移行や外来⇒入院への移行患者の掘り起こしと情報共有



②診療報酬管理料や加算等の上乗せ
・救急医療管理加算（Ｒ５継続）
・重症者等療養環境特別加算（Ｒ５継続）
・医療機器安全管理料（５月～）
・介護支援等連携指導料強化（８月～）
・リハビリテーション総合計画評価料（１２月～）

３）公衆衛生活動の推進

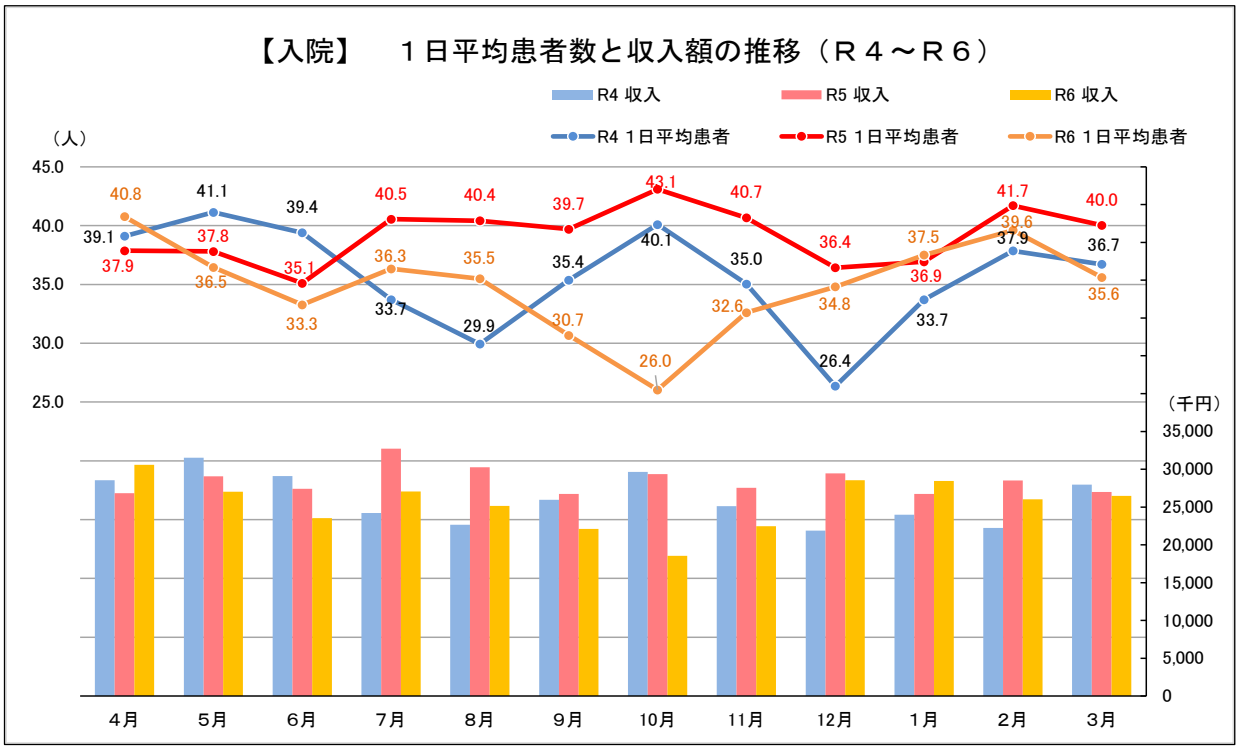
①町民ドック受診者への医師からの結果判定説明再開（９月～）
②インターネットによる町民ドック予約の導入（１２月～）
③受診者への昼食サービスの提供（１月～）

４）経費節減の取り組み

①給食部門における調理済食材の購入提供（７月～）
十勝セントラルキッチンからの納入
②院内環境改善プロジェクトチームの立ち上げ（１１月）
若手スタッフ中心に部局横断的にカバー現場レベルでの無駄解消と横連携の円滑化

４　患者数および医業収入実績

１）入院

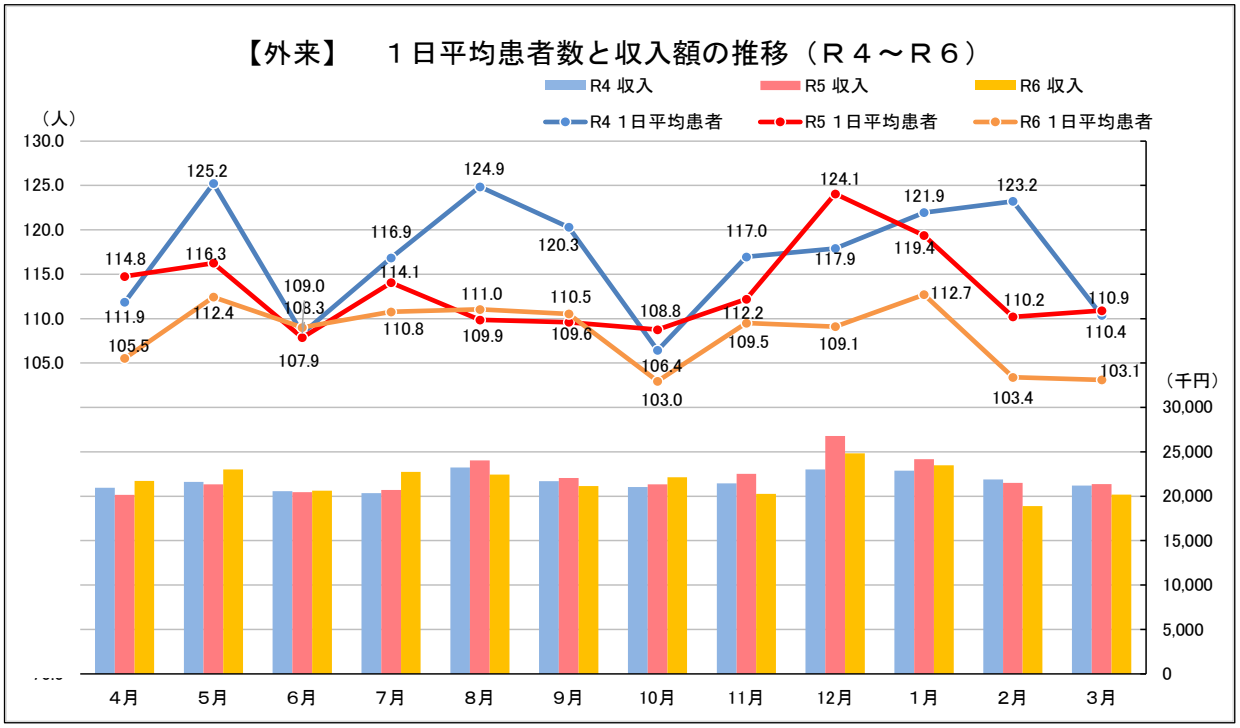


	１日平均患者数（人）			収入　（千円）		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6
４月	39.1	37.9	40.8	28,545	26,842	30,590
５月	41.1	37.8	36.5	31,516	29,077	27,031
６月	39.4	35.1	33.3	29,104	27,408	23,516
７月	33.7	40.5	36.3	24,221	32,710	27,045
８月	29.9	40.4	35.5	22,659	30,265	25,164
９月	35.4	39.7	30.7	25,948	26,737	22,097
10月	40.1	43.1	26.0	29,644	29,357	18,553
11月	35.0	40.7	32.6	25,129	27,559	22,448
12月	26.4	36.4	34.8	21,891	29,463	28,534
１月	33.7	36.9	37.5	23,979	26,736	28,458
２月	37.9	41.7	39.6	22,233	28,513	26,029
３月	36.7	40.0	35.6	27,973	26,980	26,488
計	35.7	39.2	34.9	312,842	341,647	305,953

令和６年度における入院患者数は、入院では延べ 12,736 人、1 日平均 34.9 人、病床利用率 58.2%で前年度比それぞれ 1,607 人（11.2%）、4.3 人の減となった。入院のうち地域包括ケア病床利用者数は延べ 1,722 人、1 日平均 4.7 人（対前年 0.5 人減）となっている。

令和５年度と比較し、夏場の熱中症や脱水関連患者の入院が少なかったことや、夏から秋にかけての死亡退院が多かったことなどの影響により、７月から１１月までの入院患者数が大きく減少する結果となった。

２）外来



	１日平均患者数（人）			収入　（千円）		
	R4	R5	R6	R4	R5	R6
４月	111.9	114.8	105.5	20,948	20,152	21,733
５月	125.2	116.3	112.4	21,601	21,342	23,008
６月	108.3	107.9	109.0	20,560	20,450	20,628
７月	116.9	114.1	110.8	20,358	20,710	22,730
８月	124.9	109.9	111.0	23,231	24,039	22,446
９月	120.3	109.6	110.5	21,689	22,043	21,131
10月	106.4	108.8	103.0	21,031	21,350	22,129
11月	117.0	112.2	109.5	21,434	22,512	20,270
12月	117.9	124.1	109.1	23,007	26,784	24,842
１月	121.9	119.4	112.7	22,874	24,164	23,495
２月	123.2	110.2	103.4	21,894	21,498	18,876
３月	110.4	110.9	103.1	21,211	21,352	20,179
計	116.2	113.1	108.3	259,838	266,396	261,468

令和６年度における外来患者数は延べ 26,327 人、１日平均 108.3 人で、前年度比-それぞれ 1,158 人（4.2%）、4.8 人の減となった。

外来者数減少は、内科・外科外来の減少率が高く、また皮膚科外来も月２コマから月１コマに減少したことによる患者数減、発熱外来者数の減も減少要因となっている。

５　患者状況および救急・時間外患者の状況について

１）年齢区分別延べ患者数

（単位：人）

		～５９歳	６０～６９歳	７０歳～	合計
入院	男性	148　1.2%	262　2.1%	4,495　35.3%	4,905　38.5%
	女性	101　0.8%	296　2.3%	7,434　58.4%	7,831　61.5%
外来	男性	2,430　9.2%	1,969　7.5%	8,386　31.8%	12,785　48.6%
	女性	1,515　5.8%	1,725　6.6%	10,306　39.1%	13,546　51.4%

入院患者の 93.7%、外来患者の 70.9%が 70 歳以上の高齢者となっている。

２）診療科別延べ患者数

（単位：人）

	内科	外科	人工透析	その他	合計
入院	6,366　50.0%	6,264　49.2%	106　0.8%	－	12,736
外来	7,690　29.2%	5,025　19.1%	3,529　13.4%	10,087　38.3%	26,331

(3) 救急・時間外患者受け入れ状況

（単位：人）

年度	時間外患者		時間内	合計
	ｳｫｰｸｲﾝ	救急搬送	救急搬送	
R6	467	132	102	701
R5	581	145	88	814
R4	458	133	92	683

令和６年度の救急搬送は、時間外・時間内合わせ２３４件であった。

６　経営強化プランにおける数値目標と実績について

＜医療機能等に係る数値目標と実績＞

上段：目標値 下段：実績値	R4 旧目標値 実績値	R5 旧目標値 実績値	R6 目標値 実績値	R7 目標値	R8 目標値	R9 目標値
平均入院患者数	45 人	45 人	45 人	45 人	45 人	45 人
	35.7 人	39.2 人	34.9 人			
病床利用率	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%
	59.4%	65.3%	58.2%			
平均外来患者数	157 人	157 人	145 人	145 人	145 人	145 人
	116.2 人	113.1 人	108.3 人			
紹介患者数	50 人	50 人	50 人	50 人	50 人	50 人
	5 人	9 人	35 人			
逆紹介患者数	50 人	50 人	50 人	50 人	50 人	50 人
	12 人	19 人	45 人			
１人あたり	25,200 円	25,200 円	25,300 円	25,300 円	25,300 円	25,300 円
入院診療単価	24,030 円	23,820 円	24,022 円			
１人あたり	8,335 円	8.335 円	8,700 円	8,700 円	8,700 円	8,700 円
外来診療単価	9,196 円	9,689 円	9,928 円			
修正医業収支比率			64.0%	63.9%	62.9%	63.0%
※１	54.5%	58.8%	51.9%			
健康診断受診者	―	―	465 人	465 人	465 人	465 人
	586 人	479 人	477 人			
ドック受診者	―	―	530 人	530 人	465 人	465 人
	442 人	446 人	461 人			

※１　修正医業収支比率：医業費用に対する一般会計繰入金を除く医業収益の割合

＜一般会計繰入金に係る数値目標と実績＞

上段：目標値 下段：実績値	R4 旧目標値 実績値	R5 旧目標値 実績値	R6 目標値 実績値	R7 目標値	R8 目標値	R9 目標値
収益的収支	368,000 千円	368,000 千円	406,050 千円	402,137 千円	401,410 千円	400,514 千円
一般会計繰入金	449,356 千円	431,719 千円	475,609 千円			
医業収益に対する繰入割合	―	―	53.2%	52.8%	52.8%	52.8%
	73.5%	68.2%	78.9%			
医業費用に対する繰入割合	―	―	34.1%	33.7%	33.1%	33.1%
	40.1%	40.1%	41.0%			
資本的収支	55,578 千円	54,003 千円	129,779 千円	123,090 千円	91,032 千円	94,549 千円
一般会計繰入金	73,765 千円	87,572 千円	122,053 千円			